



# ぼらんていあ通信

3月号  
通巻 No.436

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2018年3月20日  
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内  
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

## 歓声と笑顔とほかほかの

## 新春ボウリング大会!



一月十七日(土)、JR相模原駅に近い相模原パークレーンズでボラ協が主催するボウリング大会が行われました。

まだまだ寒さの厳しいこの日でしたが、朝早く八時には駐車場係、会場係、ボランティアの皆さんが集まり、一階では四百円の参加費を徴収する受付係、シューズ係、エレベーター係などが待機。また数々の賞品のチェックなどをして準備万端調整しています。

毎年恒例のボウリング大会は相模原パークレーンズさんの会場無償提供により実現しています。三階の十八レーンがすべて貸し切りです。その上、すぐカーターにならないようにボールウォールがレーンの両側に取り付けてあります。嬉しいですね!

約六十名の参加者が二階で受付を済ませ、ボウリングシューズに履き替え、会場に集合、開会式です。鈴木実行委員長の司会で始まり高橋会長の挨拶、パークレーンズのマネジャーの江頭さんの紹介そして平柳実行委員から競技説明などがあり、五分間の投球練習の後、いよいよゲーム開始です。一ゲーム目終了で得点を集計、それ以後は時間いっぱいまで自由に楽しめます。

参加者は障がいのある人とその家族の皆さんからなる十三のグループとボラ協の数です。西本さん、杉本さんなどが昔取った杵柄を披露。皆さん、お若いですね!

会場のおちこちからスコアボードとストライクの音が気持ちよく響き、歓声が上がり拍手に包まれます。スベアが取ればワァーッと盛り上がり、外れはムムムッと舌打ちの音も聞かれます。

離れた二本のピンの間を通り抜けて行ってしまったボールを眺め悔しがるグループ「ピロ」の選手に、「スベア狙いましたねえ」と声をかけると「スベア狙ったの分かったあ?」と笑って答えてくれた。残念でしたね!

小学生の僕とお母さん、お父さんの家族三人グループは回転が早い。「いつもボウリングに来られるんですか」と尋ねると「一年ぶりですよ」とお父さんが楽しそうに答えてくれた。また来年もどうぞ! 体がほかほかになって来た十時過ぎに一ゲーム目が終わり、各グループの得点票を集め集計です。平柳実行委員から一位〜三位までの成績優秀者の発表があり、江頭マネジャーからカップと賞品が授与されました。その他、飛び賞の発表が続きました。皆さんの誇りげな表情が印象的でした! また、家族や支援員の中での最優秀者には「介護で賞」が贈られ、そして全員に参加賞が渡されました。

みんなニコニコの中、吉留副会長が閉会式の挨拶、パークレーンズさんに謝辞を述べて、解散となりました。皆さん、お疲れ様でした!

(小林、写真・勝部)

### 大募集

### パレードに参加しよう!

第45回相模原市民桜まつりでは、当協会もハンディキャブ号とセダン型自家用車をとめないパレードに参加しPR活動を行います。

日時: 4月8日(日)  
午前10:30集合  
集合場所: 16号線から1本市役所寄りの道路



# 傾聴活動入門講座 全三回が終了しました!

おたががハサビ4階多目的ホール 午後時〜四時



## \*第一日目 二月十五日(木)

西本会員の司会で、配布資料の説明、講座全体のオリエンテーションから始まりました。

続いて高橋会長からは「昔、自己啓発セミナーを受けたとき、人のために為す事が自分を元気にすることが分かり退職後すぐボランティア協会に入った。今でも元気に活動しています。皆さんも無償の行為ではありますが、必ず元気をもらえます。是非元気に活動してください」と挨拶があった。

まずは、荒木乳根子先生(田園調布学園大学名誉教授)のお話し実習

・傾聴の基本的な態度のあり方・・・受容と共感を基本に

・フォールの形成・・・互いに信頼し合っている場ができることが大切。そのためには、ことば以外の自分の持つ雰囲気も大切。

・互いの座る位置も大切・・・実習でその効果を確認した。



3人1組で実習している様子

・質問の仕方・・・聞かれた質問と聞かれた質問がある。聞かれた質問をしないものでも、実際に質問の内容を聞き取って

相手のことをしっかりと受け止めていることを表現するのには繰り返しは大切・・・例題に沿って実際にやってみて、繰り返しの効果を確認する。

・実習・・・三人一組で聴き

手、話し手、観察者になって「最近やりたいと思ってること」について、上手に話を聴きた実習をした。(西本)



## \*第二日目 二月二十日(木)

多少固さを感じられた初日とは異なり、打ち解けた雰囲気が漂う中で二日目は始まりました。

講師は引き続き荒木乳根子先生、前回引き続きカウンセリングの技法についての講義と実習です。まず、次の二つの技法について説明していただいた後、この技法を体感するための演習が行われました。

・繰り返しは鏡の役割を持ち、聞き手が話を聞き終わった後に、受け取った「相手の心」をもつ一度話し手に返して確認し、鏡に自分の心を映すことにより聞き手に気づきを促すもの。

・明確化は「話し手が言葉にしていない、あるいは言葉にできないことを聞き手が察して言語化すること」で詳細な、具体的な表現を促すもの。

荒木先生からは「相手の気持ちを共有する視点で「相手の気持ちやすぐ取り返すこと」のアドバイスがありました。

引き続き「支持」「自己開示」「提案・助言」の三つの技法についての説明があり、①話し手、②聞き手、

③観察者の役割を順番に演じる「繰り返して明確化(聞く練習)」を五十分ほどかけて行いました。先生からは「話し手はマントラ」「観察者は顔かないよ」「この注意がありましたか、雄弁になってしまっ人、二つ三つ幾度も繰り返す」「聞き手は「聞き取ったこと」を繰り返す」

「聞き取ったこと」を繰り返す。聞き手は「聞き取ったこと」を繰り返す。聞き手は「聞き取ったこと」を繰り返す。(海)

## \*第三日目 三月二日(木)

講座最終日は、ボランティア活動の事例紹介として、渡邊委員からボランティア協会の様子や傾聴活動について、吉留副会長からは、当協会の主軸でもある移送援助活動についての説明があった。続いて南社会福祉協議会の稲木さんから、趣味や特技を生かしたボランティア登録制度「いるかバンク」についての詳しい説明の後、小川会員の司会で実際にボランティアとして活動している二三人のパネラーを交えてのディスカッションがあり、質問や意見交換などが活発に行われた。



ディスカッションの様子

講座終了後の相談ブースでも、皆さん熱心に質問されていた。(恒藤)

アンケートから

\*先生の声のトーン、話し方がとても素敵でした。

\*この講座に出会えて良かったです。

\*実際におこなうワークの時間が長くてよかったです。

時間が足りなかつた。

\*実際ボランティアをされている方々の素敵な話が聞けて良かった。

\*自分の思い込みがくつがえり、新しい価値観を教えられて良かったです。

ひとつでも多くのの方に、ボランティアとして参加いただけたら嬉しいです!!





右から伊藤さん、渡部さん、長谷川さん

い。たまに大変(苦労を)か  
けたからと御礼を差し出さ  
れる方がいるが、そうした  
場合には、大野中地区社協  
が始めた「大野中地区社協  
福祉基金」に寄付してい  
ただくように紹介している。  
高齢者の皆さん！生活

### ボランティア活動グループ訪問記

おのなかボランティアセンター  
支援を必要とする人々へのお手伝い  
すまじのない対応の役目を担って！



平成二十八年四月開所してまもないボランティアセ  
ンターを取材し、ほらんていあ通信414号に掲載し  
ているので、一回目の訪問になるが、具体的な活動状  
況を伺うために去る二月六日(火)十時、横浜線古淵  
駅から五分、イトーヨーカドー裏アパホテル隣にある  
プレハブの建物を訪れた。センター長の伊藤重俊さん  
とスタッフの渡部久美子さんが出迎えてくれた。  
スタート時二十二人だったボランティアさんは、現  
在三十四人。相談日(火・金曜日)にセンターに詰め  
ているのは二人から七人。

の中でちょっと困ることが出  
たら、気楽にセンターに相談  
してみましよう！  
ボランティア依頼の方法は、  
高齢者支援センター、民生委  
員、またはボランティアセン  
ターに直接電話がFAXを。  
また逆にお手伝いしてみたい、スタッフとして協力し  
たいという方も募集している。  
平成二十九年四月調査による大野中地区の高齢者  
人口(六十五歳以上)は、全体人口六万二千六百三  
人に對し26.1%を占めていて、七十五歳以上の高  
齢者は約八千人いるようだ。行政の福祉サービスや介  
護保険で出来ない隙間を埋めるこうした貴重な活動  
の必要性はますます高まるにちがいない。  
地区社協会長もなさっているお忙しい伊藤さんと、  
ボランティアグループのリーダーとして地区社協監  
事もなされている渡部さん、長時間取材にお付き合  
いの有難うございました。(植野・山崎)



ボラセンのあるプレハブ建物の正面入り口

＊おのなかボランティアセンター

センター長 伊藤重俊

相談日 毎週火曜日・金曜日  
午前十時～午後一時

電話・FAX 042(733)6690

住所 古淵3-9-24 (アパホテルとなり)



☆ごなたでも参加OK!

びらつと立ち寄りサロン開催

日時 平成三十年四月十七日(火)

午前十時～午後二時

場所 おのなかボランティアセンター

### 4月の記念日は?

小倉義男

4月17日、なすび記念日です。

「ヨ(4)イ(1)ナ(7)ス」の語呂合わせ、4  
月が冬春ナスの最盛期であること、4月  
にナスが好物であった徳川家康に献上さ  
れていたこと、徳川家康の命日が旧暦の  
4月17日であることによることから、  
冬春なす主産県協議会が2004年に制  
定したそうです。そう  
いえば、徳川家康の顔  
がナスに似てるかもし  
れませんね。( ) 小倉画



Twitter

### ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

児玉英明

ボランティア活動にもいろいろありますが、お  
子さん相手のボランティア活動も楽しいもので  
す。

私の所属している地元のグループでは、小学生  
低学年(一二年生)を対象に小学校校庭でもセ  
ンターなどで、昔遊びのボランティア活動を年三  
〜四回行っています。

一つの例を紹介いたしますと、紙トンボ飛ばしがあ  
ります。羽根は牛乳パックの紙をひょうたん状に  
切り、その中央に小穴を穿け、そこに竹串を刺し、  
セロテープで固定して出来上がりです。

これをお子たちに教えながら作らせるのです  
が、みんな目を輝かせて一生懸命つくります。  
そして、それをみんなで一斉に上空に飛ばしま  
す。子供たちのはしゃいでいる姿を見ていると  
私たちも若返ったような気がします。



ほっこりな♡ほらんていあ (8)  
出前道芸

私たちは緑区鳥屋に住んでいます出前道芸の中瀬です。社協からの依頼により、相模原市全区対象に各施設でプログラムのようなパフォーマンスを行っております。通常は私達夫婦で、学校が休みの時は、孫(中二と小六)の二人との四人で訪問しております。そして出来るだけ施設の職員さんと利用者さん、私達と一緒に参加し、楽しめるものを。職員の方々が参加されると、いつもと違う顔が見られるので嬉しいと利用者の方々が感じているようです。皆さんが楽しい一時を過ごしていただければ幸いです。

最近、印象に残ったことを記したいと思います。ある高齢者と世間話をした後、帰り際に「俺、何でこんなになってしまったんだろう」と言って去っていった。後ろ姿を見送りながら、その言葉に、何かわかるような気がしました。若い時にはバリバリ働き、家庭の中心になって子供を育て、地域の役員も受け活躍し、いつの間にか体力が衰えて、人々の付き合いも少なくなり、世間、家庭での言葉も無くなり、自分では何とも言えない虚しさを感じているのでしょ。

また、ある施設で最後の演目が終わった後、利用者さんが代表としてお礼の挨拶をしてくれました。その人が言うことには、楽しく過ごさせていただきました。お孫さんもこれからも元気で明るく、勉強に頑張ってください。

そして、「夫妻も仲良く、芸を磨いて、また来て下さいね。しかし、なるべく「施設には入所しないでね」と言われました。その施設は、職員の方々のサービスも良く、利用者さんも明るく楽しく過ごしていると思っていました。本音は、出来れば自分の家で過ごしたいと思っているのだなあと感じました。ボランティアとは何か、考えさせられる作業です。 出前道芸 中瀬 勝利



生活リハビリクラブでの演目プログラム

- 1 きよしのズンドコ (5人で)
- 2 バイクダンス (5人で)
- 3 ヒップホップダンス (孫2人)
- 4 皿回し (勝利)
- 5 ヒップホップダンス (孫2人)
- 6 ミニマジック (勝利)
- 7 空手道の形 (孫2人)
- 8 安来節一人踊り (明代)
- 9 獅子舞 (勝利)

ヒップホップダンス；エグザイル曲  
空手道の形；セイバイ、サイファー  
マジック内容；ハンカチ結び、  
輪のチェーン入れ、紐の輪作り 他

出前道芸 中瀬 勝利 (緑区鳥屋)

近隣、市内全域の施設を訪問し、楽しんでいただいております。  
問合せ；中央ボランティアセンターTEL042-786-6181(いるかバンク)

理事会報告

三月七日(水)十三時半から(理事七名出席)

- ◆ 通常総会に向けて
- ・ 事業報告、決算の見込み、事業計画案、予算案について検討した。
- ◆ 広報・わくわく部会
- ・ 次号は四月二十二日に発行予定。
- ◆ ハンディキャブ委員会
- ・ 委員の補充について検討。
- ◆ 事務局委員会
- ・ 正会員更新登録受付。
- ・ ハンディキャブ利用会員継続受付開始。
- 三月一日より受付。
- ◆ 総合企画委員会
- ・ 協会運営の今後の課題について検討している。
- ◆ 講座検討委員会
- ・ 傾聴講座の参加は二十六名、三日間の講座が終了。
- ◆ 傾聴委員会
- ・ 三月二十二日に委員会と交流会を開催。
- ◆ 桜まつりについて
- ・ 福祉バザー、福祉ふれあいブース(模擬店)、パレードに参加。
- ・ ボランティアの参加募集の受付をしています。

次回理事会 四月四日(水)

イベント情報

ひとりで悩みを抱えこまないで  
「ほっとタイム」(毎月三区で開催)

場所と日時 いずれも午前十時から正午まで

①緑区合同庁舎二階、高齢者交流室

四月二日(月)五月十二日(土)六月十一日(月)

②市民会館四階第五小会議室

四月四日(水)五月十日(木)六月八日(金)

③南保健福祉センター二階情報交換ルーム

四月九日(月)五月八日(火)六月七日(木)

内容

介護にお困りの方、介護にお悩みの方等、誰でも参加できます。

「ほっとタイム」で話すだけでも、何か対策が見つかるかもしれません!

申込・問合せ

認知症家族会友知草の会担当: 富樫

Tel 090・7812・5257

ボランティア協会 4月のよてい

日	時間	内容
4(水)	13時半 16時半	定例理事会 総合企画委員会
7(土) 8(日)	13時~ 10時~	桜まつり
11(水)		黄色いレシート キャンペーン
14(土)	13時~	事務局委員会
16(月)	13時~	ぼら通部会
17(火)	19時~	ほかふれ 実行委員会
18(水)	13時半	臨時理事会
21(土)	10時~	HC委員会
23(月)	13時~	ぼら通印刷
24(火)	13時~	ぼら通発送

三世交代 ふれあいふじみ

日時: 四月二十八日(土)

午前十一時半~午後二時

場所: 富士見団地集会所

(中央区富士見五丁目)

内容: みんなで一緒に、五月飾り作りをしたり、ご飯を食べたりして楽しく過ごしましょう。  
※昼食は各自で持参下さい。  
飲み物は用意しています。

参加費: 無料

申込・問合せ

中央区社会福祉協議会

Tel 042・758・0130

はやぶさカフェ

日時: 毎月第一・四金曜日

午前十時~午後二時

場所

第二金曜: かぬまたいけやき

クリニック会議室

(中央区鹿沼台二の二八の六)

第四金曜: スペースカフェ銀河

(中央区淵野辺四の二三の五)

内容

気軽に立ち寄れる憩いの場。日常のちょっとした困り事も相談できます。

問合せ

大野北地区社会福祉協議会

Tel 042・861・4512



相模原市で活躍する会社紹介  
(株) アジアトレーディング



九嶋 俊彦さん

商号 株式会社 アジアトレーディング  
代表取締役 九嶋 勝美さん  
専務取締役 九嶋 俊彦さん (32歳)  
(公社)相模原青年会議所 人材創出グループ  
本社: 〒252-0334 南区若松2-2 4-3 0  
電話: 042-701-2522  
自社工場

☆フィリピンネグロス島ラカルロタ市  
弊社は国内で役目を終えた主に工業製品・中古のゴルフカートをフィリピン自社工場に輸出して修理再生しています。

◆事業内容

- ☆産業廃棄物収集運搬
- ☆非鉄金属回収
- ☆解体業
- ☆家電リサイクル
- ☆マンション新築現場売店業務

私たちは環境の為に働くサービスマンです。日本という小さな島国から出る貴重な資源を無駄なくリサイクルすることを目標にしております。ひとりひとりのお客様を大事に社会に貢献させて頂いています。

『限りある資源を大切に』という目的をもち、人にやさしく環境にやさしい業務を行っており、~そのまま捨てればただのゴミ。分別すれば再資源~。創業時から変わらず地域の為、日本のため、さらには地球のためと常に心がけております。

創業時は、金属リサイクル・産業廃棄物収集運搬を中心に業務を行い、環境問題の第一線で分別、リサイクルの重要性を社員一同心掛け作業を行ってまいりました。そして、その時培った知識、経験をいかし家屋解体工事部門を立ち上げ、現在に至ります。また、飲食部門も行っております。これはまちにあるレストランなどとは違い現場で働く職人さんのために開く食堂経営になります。建設現場の中で職人さんたちが出来たてのご飯が食べられるように毎日建設現場内で営業を行っております。

これからも株式会社アジアトレーディングは、環境問題の第一線で走り続けたいと思っております。未来の子どもたちに少しでも良い環境を渡せるよう着実な1歩を続けて参ります。

# 今年度(2017年度)の主なトピックス・出来事

ハンディキャプだより

## 《多くの市民の皆様・小中学校の生徒さんへハンディキャブ活動を紹介》

相模原市民桜まつりのパレードに参加

小中学校 5校で開かれたみんないひと体験講座に参加

田名地区地域ケア会議で、ハンディキャブ活動を紹介

感謝の手紙 1年 0さん

車いすの人でも、ハンディキャブ号のおかげでとおくまでいけて、車いすの人たちにとってのヒーローなんだと思いました。

そして今日、そのヒーローに会えて、しかもお仕事の方法までおしえてもらえて、ほんとうによかったです。お仕事がんばってください

## 《各地区で運行ボランティアへの参加を呼びかけ》

ボランティア養成講座のパネルディスカッションに参加

傾聴活動入門講座でハンディキャブ活動を紹介

南地区のボランティアセミナーでハンディキャブ活動を紹介

南地区で移送ボランティア養成講座を開催

新たに運転者3名加入

## 《仲間の交流、その他の主な活動》

南地区でハンディキャブ関係者交流会を開催

日本財団へ福祉車両導入の助成申請



## 「みんないひと体験講座」のテキスト

この度「みんないひと体験講座」(当市の小中学校で行われている福祉体験学習)のハンディキャブ号紹介の授業で用いているテキストを、小川進ハンディキャブ委員が作りました。講師として参加される皆さん、是非ご利用ください。

お知らせ

### 坂道の登り方と下り方



車に乗車する。【注意事項】

スロープ幅が70cm位車椅子幅が63cm位、ベルトの力は約100kg位で引く無理な操作をすると壊れます。



乗車姿勢

【注意点】

右上の写真で分かるように天井との隙

### ハンディキャブ号での実習要領ガイド HC委員会監修

- 学習目的
 

受講生が、肢体不自由者の理解を深める為にどの様に取り組み今後生きていく為に必要な人との接し方や他者への 共感・協調性を高める為の方法としてハンディキャブ号を利用して肢体不自由者に対する理解と、大切さを高めてほしい。
- 移動範囲
 

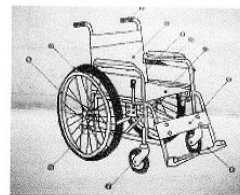
旧相模原市をメインにあじさい会館を中心として直線30Km迄の範囲で活動をしています。
- 移動車の種類
 

大きく分けて自家用車の移動車と、協会が所持している車です。
- 協会が所持している車
 

テーブルリフター式・ウインチベルト式・チルトシート式の肢体不自由者を移動させるタイプがあります。今回使用するのはウインチベルト式の車です。このタイプは、ベルトを使って車椅子を車内の移動させるタイプ(南区使用車は協会所持のテーブルリフター式+チルトシート式車です。)
- 車椅子介助の基本動作方法
 

正しい知識を持たなければ難しいものではありません。

### 車椅子を押す時に配慮すること



- ハンドルグリップをしっかり握り両手に均等に力をかけてまっすぐ押しましょう。
- 前後左右の段差、突起物に十分注意
- 車椅子では振動が果っている方に強く伝わるので、整地されていない所では特に静かに押しましょう。
- たえ、信号を待つ間の停止でも、ブレーキは必ずかける習慣をつけましょう。

車椅子

「ハンディキャプだより」が不定期刊行になります

### ハンディキャプだより 発行方式の履歴

- 2003年～ 不定期刊行/“主にB5片面”
- 2005年5月～ 月刊/“B5両面”
- 2014年5月～ ぼらんていあ通信(月刊)の6ページ目/“A4”片面

ぼらんていあ通信の6ページ目に掲載してました「ハンディキャプだより」を、来年度(二〇一八年四月)より不定期刊行とする事になりました。但し、今後も継続して運行ボランティア(運転者・介助者)の皆様とハンディキャブ委員会・事務局委員会との間で、より一層緊密でタイムリーな情報伝達・意見交流を旨とする所存です。

引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

(ハンディキャブ委員会)

## 市社協ボランティアセンタートピックス(第4回)

## ～災害時にも活かせるファシリテーション～

静岡県の小山町社会福祉協議会が企画した災害対応研修会に参加しました。

皆さんは「ファシリテーション」という言葉を聞いたことがありますか？

“しーんと静まりかえって意見が出ない”、“いつも同じ人ばかり話している”、“出席することが目的になっている”… こんな話し合いの場面を経験したことはありませんか？  
出席者の意見を出しやすくする技術のことを「ファシリテーション」と呼びます。

それでは、なぜこの「ファシリテーション」が災害時に活かせるのでしょうか。

見知らぬ人同士が突然共同生活を送る避難所や、多くの人々が初めて経験する災害対応においては、様々な問題が発生します。そのような状況下では「特定の意見を押し付けるのではなく、話し合いで解決することがより良い復興につながる」と考えられるからです。

住民が受け身にならず、“我が事”として、“何が必要か”“何ができるか”を発信したり、その思いが引き出され、当事者意識を高める場面作りが重要です。このような「住民主体の復興支援」を達成するための手段として、ファシリテーションの技術は有効なのです。

研修では、身近な話し合いの場面で実践できる数多くの手法を学ぶことができました。

※ファシリテーションのことを詳しく知りたい方は、日本ファシリテーション協会のホームページを参考にしてみてください。リーフレットもダウンロード可能です。

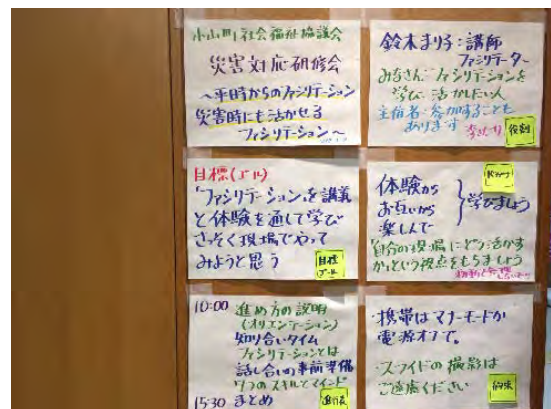
([https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content\\_id=4935](https://www.faj.or.jp/modules/contents/index.php?content_id=4935))

「災害支援」というと、ボランティアセンターの運営や、体力を要する活動というイメージがありましたが、住民の意識づくりを通じた「平時からの防災」という観点は新たな学びとなりました。注意すべきは、「平時にできないことは災害時にもできない」ということです。

日頃から、ボランティア活動の根底にある、活動者の“思い”を見落とさずになりたいと感じました。



座り方を変えるだけで発言しやすくなる雰囲気生まれる☆



紙にまとめて意見が見える形にすれば共有ができる☆

執筆 中央ボランティアセンター

\*市社協は市・地区民生委員児童委員協議会の事務局を担っています



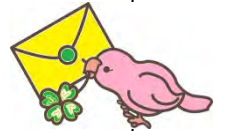
# ボランティアさん募集！

## 絵手紙を教えてください方

- 内 容 障がい者施設で季節ごとに行われる絵手紙活動で、利用者の方に絵手紙を教えてください方。
- 日 時 年4回季節ごと木曜日 午前10:30 ~ 11:45
- 場 所 地域活動支援センターカミング（中央区淵野辺4-15-6 ヴィーナズ2階）
- 備 考 ※交通費支給（公共交通機関利用、自家用車の場合駐車場代）  
※必要な物は施設で準備します

### 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181



## 相模原市民桜まつりに参加しませんか？（募集継続）



### ボランティア募集

- 内 容 パレード参加・福祉ゾーンバザーやボラ協コーナーの運営のお手伝い。  
また、各ブースの準備や片付けのお手伝いや声かけなど
- 日 時 4月6日（金）～ 4月9日（月）  
ご都合のよい日に2時間～
- 場 所 市役所周辺の桜まつり会場内

### バザー品募集

- ご家庭で不要な物（古着以外）、ご寄付いただける手芸品や材料などをご提供いただけませんか？
- 収集期間：3月26日（月）～ 4月7日（土）
- 問い合わせと持ち込み時間  
：10時～15時（日曜を除く）
- あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡いただければ、日時を調整し、お伺いいたします。

連絡・問い合わせ先 相模原ボランティア協会 あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982



春が来た！  
庭の梅が満開となりました。鳥達がさえずり、春を待ちわびていたようです。昨年はその木（小梅）から実が三升ほどとれました。近所の人達が待っています。私も毎年、1kgくらい漬けています。カリカリ梅は回回か挑戦したが成功しませんでした。誰かおしえて…。

### 編集後記



### 《今月のイラスト》

…採れたて野菜はおいしい！

今年登録のお願い(再掲)  
来年度の会員登録が三月一日から始まりました。あじさい連絡所 または郵便振込で更新手続きができます。ご住所等、登録状況に変更のある方は、合わせてご連絡ください。  
よろしくお願ひします。  
事務局